

蓮 華 拝

近田 節子

現在、22才と16才の我が家の子ども達がまだ小学生とよちよち歩きの頃から、よく、談話会の観察会に家族で参加していた。本郷先生が千葉にいらっしゃるとき、長女は、自分で描いたきのこの絵を持参したり、本人なりに質問を用意して、お会いできるのを楽しみにしていた。雲の上の大先生のはずなのに、そんな子ども達に対しても、先生は、大人達に対する時と同じような受け答え方で、真面目に丁寧に質問に答えてくださっていた。長男を抱いて写真撮影に応じてくださった事も度々あった。落ち着きの無い長男を私が放りっぱなしで、きのこに夢中になっていても、暖かい眼差しで見守ってくださっていた。

ある時、何がきっかけか忘れてしまったが、同じ談話会のSさんと本郷先生のお宅へお邪魔させていただくことになった。何年前頃だったろうかと、考えていたら、思い出した。金子修介監督の「ガメラ3、イリス覚醒」という映画をロードショーで観た年だ。最後の場面でガメラとイリスが新しい京都駅をめちゃくちゃにしながら戦うシーンが印象的で、本郷先生宅へ伺うために降り立った京都駅がそのときの映画のシーンと重なって見え、非常に感動したことを覚えている。ということは、1999年である。

東海道本線快速に乗り換え、15分そこそこで瀬田駅に到着。そういえば、また思い出した。故吉見先生が自分の家は京都市内だが、隣の滋賀県の本郷先生宅の方が、京都駅から近くて便利、などという事を言われていた。なるほど、京都駅から近い。瀬田駅から、少し緊張しつつ、

教えていただいた道筋どおりに歩いて、先生宅へ到着した事を覚えている。

母屋とは別棟の先生専用の研究棟の方に案内された。玄関にはきのこのマット、あちこちにキノコグッズ、それらの入手の経緯を嬉しそうに説明してくれた。その後は、ニュージーランドに先生が行かれた時の、よもやま話が多かったように思う。最初は二人ともかなり、緊張していたが、いつも通り気さくに應對していただき、楽しいひとときはあっという間に過ぎてしまったのだった。

帰り際に、庭のスイレン鉢を見せてくださり、先生はスイレンの花がとてもお好きで、大事に育てていらっしゃるという事をうかがった。そして、熱帯性、温帯性のスイレンの違いなどを教わった。この日の訪問の中で、一番熱のこもったお話だったと思う。それ以来、スイレンの花を見ると、本郷先生を思い出す。先日の佐倉城址公園での観察会も、姥が池に浮かぶ白いスイレンの花が見事だった。

今頃は、吉見先生、小林先生や諸先生方と蓮華座の上できのこ談義？ 何だか、あちらの側でも目を細めながら、楽しそうに語られているような気がしてならない。本当にありがとうございました。キノコの魅力、学ぶ事の楽しさを先生から教わりました。

PS： 何度もお会いしているのに私の主人を「息子さんですか？」と間違えられた先生、未だにその話は笑い話になって語り継がれています（笑）

合 掌